



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 富士通フロンテック株式会社

コード番号 6945 URL <http://www.frontech.fujitsu.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 利根 廣貞

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 豊美 由喜夫

TEL 042-377-2544

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	70,053	△1.3	△662	—	△1,005	—	△1,211	—
23年3月期第3四半期	70,992	12.6	△125	—	△670	—	△576	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △783百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △756百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△50.64	—
23年3月期第3四半期	△24.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	57,860	32,388	55.6	1,344.46
23年3月期	64,103	33,531	52.0	1,393.92

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 32,177百万円 23年3月期 33,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,500	△2.0	2,300	△16.2	1,900	△17.2	500	△61.0	20.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	24,015,162 株	23年3月期	24,015,162 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	81,789 株	23年3月期	108,672 株
----------	----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	23,927,500 株	23年3月期3Q	23,962,723 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）6ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	4
(3)連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1)四半期連結貸借対照表	7
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	10
第3四半期連結累計期間	10
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4)継続企業の前提に関する注記	13
(5)セグメント情報等	13
(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7)重要な後発事象	13
5. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におきましては、東日本大震災に加え、欧州債務問題による世界経済への影響や秋季に発生したタイ洪水による部材調達への影響により、当社を取り巻く環境は大変厳しく推移いたしました。

このような環境の下、金融ビジネスでは上期好調でありましたメカコンポーネントビジネスが下期に入り、海外金融機関の投資抑制により伸長が鈍化したことに加え、昨年下半年以降に活発化した営業店端末の大口商談が上期で一巡したことにより減収となりました。また、流通ビジネスにおきましてもモバイル端末の大口需要の一巡や流通店舗ビジネスにおける価格競争の激化などを主因に上期を中心に減収となりました。一方、産業・公共ビジネスではトータリゼータ端末、サービスビジネスでは店舗向け ATM サービスが堅調に推移いたしました。これらの結果、連結売上高は 70,053 百万円（前年同期比 △1.3%）となりました。

損益面におきましては、費用の削減を推進したものの、売上高の減少に伴う荒利益の減少の影響により連結営業損失 662 百万円（前年同期は 125 百万円の損失）となりました。さらに円高による為替差損を主因に連結経常損失 1,005 百万円（同 670 百万円の損失）、連結四半期純損失は 1,211 百万円（同 576 百万円の損失）となりました。

①当第3四半期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

	2010年度 第3四半期連結累計期間 〔2010年4月1日～ 2010年12月31日〕		2011年度 第3四半期連結累計期間 〔2011年4月1日～ 2011年12月31日〕		前年同期比	
		売上高比(%)		売上高比(%)		増減率(%)
売上高	70,992	100.0	70,053	100.0	△938	△1.3
営業損失(△)	△125	—	△662	—	△536	—
営業外収益	116	0.2	77	0.1	△39	△34.0
営業外費用	661	0.9	419	0.6	△241	△36.5
経常損失(△)	△670	—	△1,005	—	△334	—
特別損失	62	0.1	475	0.7	413	661.4
四半期純損失(△)	△576	—	△1,211	—	△634	—

2011年度第3四半期累計期間の平均為替レート 79.00 円/米ドル、0.072 円/韓国ウォン、12.30 円/中国元
2010年度第3四半期累計期間の平均為替レート 86.85 円/米ドル、0.075 円/韓国ウォン、12.85 円/中国元

②セグメント別の概況

(単位：百万円)

	2010年度 第3四半期連結累計期間 〔2010年4月1日～ 2010年12月31日〕		2011年度 第3四半期連結累計期間 〔2011年4月1日～ 2011年12月31日〕		前年同期比	
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)		増減率 (%)
金融ビジネス	28,043	39.5	26,331	37.6	△1,711	△6.1
流通ビジネス	17,050	24.0	15,059	21.5	△1,991	△11.7
産業・公共ビジネス	13,925	19.6	16,244	23.2	2,318	16.7
サービスビジネス	11,973	16.9	12,418	17.7	444	3.7
計	70,992	100.0	70,053	100.0	△938	△1.3
国 内	56,755	79.9	53,433	76.3	△3,322	△5.9
海 外	14,236	20.1	16,620	23.7	2,383	16.7

	営業損益		営業損益		前年同期比	
金融ビジネス	961		940		△20	
流通ビジネス	△857		△2,235		△1,377	
産業・公共ビジネス	△655		△15		639	
サービスビジネス	425		648		222	
計	△125		△662		△536	

<セグメントの変更について>

2011年10月1日の組織変更に伴い、従来サービスビジネスに含めていた金融ビジネス及び産業・公共ビジネス向けリペア事業の売上高及び営業損益は、金融ビジネス及び産業・公共ビジネスの属するセグメントに、各々帰属させることといたしました。

なお、過年度分について当連結会計年度と比較可能となるよう組み替え表示を行っております。

当第3四半期連結累計期間における各セグメント別の概況は以下のとおりです。

<金融ビジネス>

金融ビジネスにつきましては、海外向け紙幣還流ユニットの昨年度からの伸長があったものの、営業店端末の大口リプレース需要の一巡などにより、連結売上高は 26,331 百万円（前年同期比 △6.1%）となりました。損益につきましては売上高が大幅な減少となりましたが、上期に行った韓国 ATM 関連事業の再編効果ならびにコストダウンや費用の削減に努めた結果、連結営業利益 940 百万円と前年同期並みで推移いたしました。

<流通ビジネス>

流通ビジネスにつきましては、モバイル端末の大口需要が前年度で一巡したことや流通店舗ビジネス等における価格競争の激化など、上期の減収を主因に、連結売上高は 15,059 百万円（前年同期比 △11.7%）、連結営業損失は 2,235 百万円となりました。

依然として市場環境は厳しさを増しておりますが、流通ビジネスの業績改善を図るため新型グローバル POS 端末（TeamPoS 7000）を投入するなど、国内を含むグローバル市場での積極的な拡販活動に努めてまいります。

＜産業・公共ビジネス＞

産業・公共ビジネスにつきましては、トータリゼータ端末の更改需要が引き続き堅調に推移したことに加え、携帯電話端末のテスト支援ソリューションも好調に推移したことにより、連結売上高は 16,244 百万円（前年同期比 +16.7%）となりました。損益につきましても、連結営業損失は 15 百万円となったものの、売上高の増加に伴う荒利益の増加等により前年同期比では 639 百万円の改善となりました。

＜サービスビジネス＞

サービスビジネスにつきましては、店舗向け ATM サービス及び流通保守サービスが堅調に推移いたしました。また、10 月 25 日には業界初となる量販店向け POS システムをクラウドサービスで提供する TeamCloud/M の販売を開始するなど積極的に事業を展開いたしました。これらの結果、連結売上高 12,418 百万円（前年同期比 +3.7%）、連結営業利益は 648 百万円となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①財政状況

(単位:百万円)

		2010年度 連結会計年度末		2011年度 第3四半期連結会計期間末		増 減	
		金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	増減率
流動資産	(現金及び預金等)	44,636	69.6	38,497	66.5	△6,138	△13.8
	(受取手形及び売掛金)	(5,812)	(9.1)	(4,046)	(7.0)	(△1,766)	(△30.4)
	(たな卸資産)	(24,490)	(38.2)	(14,235)	(24.6)	(△10,255)	(△41.9)
	(たな卸資産)	(12,011)	(18.7)	(16,296)	(28.2)	(4,284)	(35.7)
固定資産		19,467	30.4	19,362	33.5	△104	△0.5
資産合計		64,103	100.0	57,860	100.0	△6,243	△9.7
流動負債	(短期借入金)	27,502	42.9	22,960	39.7	△4,542	△16.5
	(短期借入金)	(3,413)	(5.3)	(1,943)	(3.4)	(△1,470)	(△43.1)
固定負債		3,069	4.8	2,511	4.3	△558	△18.2
負債合計		30,571	47.7	25,471	44.0	△5,100	△16.7
株主資本	その他の包括利益累計額	34,303	53.5	32,730	56.6	△1,573	△4.6
	少数株主持分他	△979	-	△552	-	426	-
	少数株主持分他	208	0.3	210	0.4	2	1.4
純資産合計		33,531	52.3	32,388	56.0	△1,143	△3.4
負債純資産合計		64,103	100.0	57,860	100.0	△6,243	△9.7
自己資本		33,323		32,177		△1,146	△3.4
(自己資本比率)		(52.0%)		(55.6%)		(3.6%)	

2011 年度第 3 四半期末の為替レート：77.73 円/米ドル、0.067 円/韓国ウォン、12.31 円/中国元
 2010 年度末の為替レート：83.15 円/米ドル、0.075 円/韓国ウォン、12.68 円/中国元

[財政状況]

たな卸資産は、第 4 四半期売上に対応し、生産の平準化を進めたことにより増加したものの、主として前年度末にかけて増加した売上債権を回収したことにより、総資産では 6,243 百万円減少し、57,860 百万円となりました。

負債は、前年度末にかけて運転資本の減少に対応し調達した借入金を返済したことにより、5,100 百万円減少し、25,471 百万円となりました。

純資産は、主として当期純損失の影響により 1,143 百万円減少し、32,388 百万円となりました。自己資本比率は、総資産を圧縮したことにより 55.6%と前年度末から 3.6 ポイント増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2010年度 第3四半期連結累計期間	2011年度 第3四半期連結累計期間	前年同期比
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
(税金等調整前四半期純損失)	(△732)	(△1,480)	(△748)
(減価償却費)	(3,139)	(3,076)	(△62)
(売上債権の増減額(△は増加))	(9,365)	(9,608)	(242)
(たな卸資産の増減額(△は増加))	(△3,389)	(△4,860)	(△1,471)
(未払費用他の増減額)	(△1,434)	(△2,243)	(△808)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,577	3,514	△3,062
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,435	△2,693	△1,258
I+IIフリーキャッシュ・フロー	5,141	820	△4,321
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,990	△2,456	2,534
現金及び現金同等物に係る換算差額	△345	△235	110
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,086	3,936	△150

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、3,514百万円のプラスとなりました。前年同期比では3,062百万円の収入減となりました。売上高の減少に伴う荒利益の減少の影響などによる税金等調整前四半期純損失の悪化及び第4四半期売上に対応し、生産の平準化を進めたことに伴うたな卸資産の増加が主要因であります。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,693百万円のマイナスとなりました。韓国及びグローバル市場における当社製メカモジュールの拡販を青湖コムネット社と共同して推進する為、株式の一部を取得したこと、及び固定資産の取得による支出が主要因であります。前年同期比では1,258百万円の支出増となりました。

結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリーキャッシュ・フローは820百万円のプラスとなりましたが、前年同期比では4,321百万円の収入減となりました。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,456百万円のマイナスとなりました。これは短期借入金の返済が主要因であります。尚、前年同期比では、2,534百万円の支出減となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は3,936百万円と、前年度末からは1,871百万円減少となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

通期の売上高におきましては、欧州債務問題を契機とした海外金融機関の投資抑制などからメカコンポーネントビジネスの伸長が鈍化しつつあります。国内市場では景気低迷による投資抑制や価格競争の激化などから流通ビジネスにおいて厳しい状況が続くものと予想されます。これらにより、連結売上高は102,500百万円（前回公表値比△3.8%）となる見込みであります。

損益につきましては、売上高の減少に伴う荒利益の減少に加え円高による為替差損などから連結営業利益は2,300百万円（同△23.3%）、連結経常利益は1,900百万円（同△32.1%）となる見込みであります。また、先般公布されました改正税法に基づき、繰延税金資産の取り崩しを行い、約2億円を法人税等調整額に計上することも含めて、連結当期純利益につきましては500百万円（同△61.5%）となる見込みであります。上記の理由により通期業績予想を修正しております。

平成24年3月期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A) (平成23年6月14日発表)	106,500	3,000	2,800	1,300	54円28銭
今回予想 (B)	102,500	2,300	1,900	500	20円90銭
増減額 (B-A)	△4,000	△700	△900	△800	—
増減率 (%)	△3.8	△23.3	△32.1	△61.5	—
(ご参考) 前期実績(平成23年3月期)	104,616	2,744	2,294	1,282	53円54銭

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,654	2,552
預け金	158	1,493
受取手形及び売掛金	24,490	14,235
製品	4,589	6,423
仕掛品	4,713	6,857
原材料及び貯蔵品	2,708	3,015
繰延税金資産	1,456	2,121
その他	907	1,826
貸倒引当金	△42	△27
流動資産合計	44,636	38,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,819	2,801
機械装置及び運搬具（純額）	539	546
工具、器具及び備品（純額）	5,156	4,952
土地	2,014	1,994
建設仮勘定	475	209
有形固定資産合計	11,005	10,505
無形固定資産		
のれん	3,400	3,046
ソフトウェア	3,189	3,404
その他	52	45
無形固定資産合計	6,642	6,496
投資その他の資産		
投資有価証券	160	302
繰延税金資産	1,019	945
その他	673	1,147
貸倒引当金	△33	△34
投資その他の資産合計	1,819	2,360
固定資産合計	19,467	19,362
資産合計	64,103	57,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,460	14,769
短期借入金	3,413	1,943
リース債務	928	857
未払金	3,479	2,701
未払費用	2,663	1,601
未払法人税等	787	146
役員賞与引当金	52	38
災害損失引当金	27	0
不採算損失引当金	—	8
その他	689	893
流動負債合計	27,502	22,960
固定負債		
長期未払金	10	98
リース債務	1,658	1,306
退職給付引当金	1,227	938
役員退職慰労引当金	36	31
資産除去債務	136	136
固定負債合計	3,069	2,511
負債合計	30,571	25,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,457	8,457
資本剰余金	8,223	8,226
利益剰余金	17,694	16,099
自己株式	△71	△53
株主資本合計	34,303	32,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45	△146
繰延ヘッジ損益	—	37
為替換算調整勘定	△934	△444
その他の包括利益累計額合計	△979	△552
新株予約権	76	78
少数株主持分	131	132
純資産合計	33,531	32,388
負債純資産合計	64,103	57,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	70,992	70,053
売上原価	57,637	57,520
売上総利益	13,354	12,533
販売費及び一般管理費	13,480	13,196
営業損失 (△)	△125	△662
営業外収益		
受取利息	39	22
受取配当金	2	3
雑収入	74	51
営業外収益合計	116	77
営業外費用		
支払利息	79	69
為替差損	487	276
固定資産廃棄損	18	14
出向者人件費負担額	46	26
雑支出	30	33
営業外費用合計	661	419
経常損失 (△)	△670	△1,005
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62	—
事業構造改善費用	—	94
災害による損失	—	8
関係会社株式譲渡損	—	149
関係会社株式譲渡関連損失	—	223
特別損失合計	62	475
税金等調整前四半期純損失 (△)	△732	△1,480
法人税、住民税及び事業税	227	296
法人税等調整額	△383	△567
法人税等合計	△156	△270
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△576	△1,210
少数株主利益	0	1
四半期純損失 (△)	△576	△1,211

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△576	△1,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△101
繰延ヘッジ損益	—	37
為替換算調整勘定	△181	490
その他の包括利益合計	△179	426
四半期包括利益	△756	△783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△756	△784
少数株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△732	△1,480
減価償却費	2,785	2,721
のれん償却額	353	354
関係会社株式譲渡関連損失	—	223
関係会社株式譲渡損	—	149
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△126	△302
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	△5
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	△13
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△26
不採算損失引当金の増減額 (△は減少)	—	8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23	△8
株式報酬費用	22	22
受取利息及び受取配当金	△42	△25
支払利息	79	69
為替差損益 (△は益)	214	205
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
固定資産売却益	△1	△0
固定資産売却損	0	1
固定資産廃棄損	18	24
売上債権の増減額 (△は増加)	9,365	9,608
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,389	△4,860
未払費用の増減額 (△は減少)	△608	△1,098
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,328	△617
確定拠出年金移行時未払金の減少額	△16	△8
その他	781	△236
小計	7,437	4,702
利息及び配当金の受取額	45	26
利息の支払額	△79	△69
法人税等の支払額	△825	△1,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,577	3,514

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△4	—
定期預金の預入による支出	—	△141
定期預金の払戻による収入	—	35
有形固定資産の取得による支出	△978	△1,485
有形固定資産の売却による収入	290	294
無形固定資産の取得による支出	△737	△1,116
投資有価証券の取得による支出	—	△278
投資有価証券の売却による収入	2	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	464
貸付けによる支出	△5	△11
貸付金の回収による収入	2	156
その他投資活動による支出	△10	△616
その他投資活動による収入	4	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,435	△2,693
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,086	△1,374
自己株式の処分による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△52	△0
配当金の支払額	△383	△382
リース債務の返済による支出	△467	△699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,990	△2,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	△345	△235
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△194	△1,871
現金及び現金同等物の期首残高	4,281	5,808
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,086	3,936

(4)継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5)セグメント情報等

a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	金融ビジネス	流通ビジネス	産業・公共ビジネス	サービスビジネス	
売上高	26,331	15,059	16,244	12,418	70,053
営業利益又は 営業損失(△)	940	△2,235	△15	648	△662

b.報告セグメントの変更等に関する事項

2011年10月1日の組織変更に伴い、従来サービスビジネスに含めていた金融ビジネス及び産業・公共ビジネス向けリペア事業の売上高及び利益又は損失は、金融ビジネス及び産業・公共ビジネスの属するセグメントに、各々帰属させることといたしました。

c.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7)重要な後発事象
該当事項はありません。

5. 補足情報

最近における四半期毎の業績の推移

平成24年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	23年4月～23年6月	23年7月～23年9月	23年10月～23年12月	24年1月～24年3月
売上高	20,487	27,233	22,333	
売上総利益	3,531	5,481	3,520	
営業利益又は損失(△)	△748	861	△775	
経常利益又は損失(△)	△878	601	△728	
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,342	589	△728	
四半期純利益又は純損失(△)	△952	260	△519	
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△39円81銭	10円88銭	△21円73銭	

総資産	58,524	59,315	57,860	
純資産	32,386	33,049	32,388	
1株当たり純資産	1,345円30銭	1,372円02銭	1,344円46銭	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,728	△2,546	1,333	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△529	△1,276	△888	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,349	152	△260	
現金及び現金同等物期末残高	7,576	3,740	3,936	

平成23年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	22年4月～22年6月	22年7月～22年9月	22年10月～22年12月	23年1月～23年3月
売上高	20,406	26,630	23,955	33,624
売上総利益	3,188	5,509	4,656	7,769
営業利益又は損失(△)	△1,404	847	431	2,870
経常利益又は損失(△)	△1,739	779	290	2,964
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,802	779	290	2,850
四半期純利益又は純損失(△)	△1,166	448	140	1,858
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△48円60銭	18円70銭	5円88銭	77円76銭

総資産	58,044	59,496	58,265	64,103
純資産	31,204	31,716	31,528	33,531
1株当たり純資産	1,298円39銭	1,318円83銭	1,315円58銭	1,393円92銭
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,614	△2,279	2,243	1,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322	△413	△699	△1,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,047	1,136	△2,079	1,578
現金及び現金同等物期末残高	6,324	4,706	4,086	5,808